

ご存じですか?? 髄膜炎菌感染症 (IMD) について・・・

寮生活などの集団生活を送る方は、感染リスクが高まります。
集団生活を始める前に髄膜炎菌ワクチン接種を推奨しています。

◆髄膜炎菌感染症ってなに? [よくわかる髄膜炎菌 \(imd-vaccine.jp\)](http://imd-vaccine.jp)

深刻な感染症を引き起こす髄膜炎菌は、健康な人の鼻やのどの粘膜に存在している菌で、咳やくしゃみなどの飛沫感染によってうつり、感染した場合には重い症状の出る危険性が高い菌です。日本国内では、乳幼児・10代後半・高齢者に発症のピークが見られます。

◆なぜ10代後半での感染が多いの?

髄膜炎菌感染症は、学生寮やクラブ活動での合宿など、人と人が近い距離で長時間集まる場所で感染リスクが高まるためです。

◆感染するとどんな症状が出る?

発症して12時間以内は、熱や頭痛、吐き気など、最初は風邪に似た症状をしめします。発症から13~20時間ほどで、皮下出血、発疹、息苦しさ痙攣などを起こし、たった数日で意識がなくなることがあります。また、後遺症が残る危険性があります。

◆特徴は?

はじめの症状が風邪に似ているので、自分で判断しにくい。症状の進みが早く、たった1~2日で命にかかわる状態になってしまう。死亡率が高く、後遺症が高い確率で残る。

◆感染しないためには?

髄膜炎菌感染症は、ワクチンを打っておくことで予防することができます。髄膜炎菌による感染症は、気づくのが難しく、治療が遅れる可能性が高いため、ワクチンの接種によってあらかじめ予防しておくことが重要です。

ワクチン接種のタイミングは・・・入寮などの集団生活が始まる4週間前までに。まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。

- 春休み、新学期、入寮など新しい集団生活が始まる前
- 外出や集団での活動機会が増える夏休み
- 海外渡航、海外留学の前

◆ワクチン接種に関しては、かかりつけ医や最寄りの医療機関に相談してください。

[髄膜炎菌について相談できる医療機関を探す | よくわかる髄膜炎菌 \(imd-vaccine.jp\)](http://imd-vaccine.jp)

(引用・参考文献) よくわかる髄膜炎菌 サノフィ

